

花ゆん・オ君・モンタ博士・フツタ博士のかくかくドドド立ててく5

国立市立国立第七小学校

平成29年10月19日 NO.61 (461)



4年生 「あれあれ？何なんだろう。ミミズみたいだな。」

4年生 「ミミズにしては、頭あたまの形かたちがちがうよ。何かの生き物なに い ものみたいだよ。」

4年生 O君 「ぼくがみつけたんだ。学校がっこうに来るとちゅう、石がきのすきまいしのところでつかまえたんだ。」

4年生 「モンタ博士はかせに聞いてみよう。モンタ博士はくし！このなぞの生き物い もの なんは何ですか。」

モンタ博士 「これは、コウガイビルという生き物い ものだよ。色が黒いので正しくは、クロイロコウガイビルというものなんだ。」

4年生 「ヒルというにんげんと、人間の血ちを吸すったりするあのヒルの仲間なかまですか。」

モンタ博士 「血ちを吸すったりするヒルとはまったくちがう生き物い ものだよ。人間にんげんには害がいがなくて、ミミズやナメクジなどを食たべているおとなしい生き物い ものなんだ。それにしても、よくみつけて、よくもって来くてくれたね。どうもありがとう。」

4年生 「そんなにすごい生き物い ものなのですか。」

モンタ博士 「そうではなくて、ちょっと見るとへんかかみっこうしているし、気持ち悪いき も わると思おもって目をそむけてしまいたくなるけど、O君くんは不思議ふ し ぎに思おもって持もって来きてくれたんだね。それが素晴す ばらしいね。立派りっぱだ。感心かんしんしてしまうね。」

4年生 「O君くん！よくみつけたね。すごいね。」

4年生 「まあ、それほどでもないけど。見みたことも聞きいたこともないから、どんな

生き物なのかと思って持って来たんです。このコウガイビルというのは、
何の仲間なのですか。」

モンタ博士「いい質問だね。生き物はたとえ名前が分からなくても、何の仲間なのかを知る
ことが大切なんだ。このコウガイビルは体が平べったいので、扁形動物とい
って、プラナリアなどと同じ仲間なんだ。」

4年生 「プラナリア？聞いたことのない生き物だな。」

4年生 「ヒルやミミズ、ナメクジとはちがう生き物ということですね。」

モンタ博士「ヒルやミミズは体が丸っこいので、環形動物といい、ナメクジはカタツムリ
や貝の仲間、軟体動物というんだよ。」

4年生 「へえー。そうなんですか。」

モンタ博士「大切なことは、このコウガイビルを発見することによって、ほかの生き物の
様子など、自分でいろいろと興味と関心をもって、自分で好奇心をもって学ん
でいくことだね。『知るは楽しみ』というから、いろいろと本も読んでみよう。」

4年生 「はい、わかりました。これからはいろいろな生き物を探します。」

モンタ博士「ところで、このコウガイビルという生き物だけど、ちょっと変わったとい
うか、おもしろい生態があるんだよ。」

4年生 「生態？あまり聞かない言葉ですね。」

モンタ博士「生態とは、動物や植物が自然の中での生活するありさまのことだね。」

4年生 「わかりやすくいうと、どういうことですか。」

モンタ博士「それはね、コウガイビルは体を切られてはばらになっても、そのうちに
再生するということなんだ。モンタ博士も実験したことはないけど、とても
おもしろい生態だね。へんな虫は、すごい虫というわけだね。」

コウガイビルとは

コウガイビルは、陸上の湿ったところに生息する動物で、頭部は半月形をしている。名前のコウガイとは、昔の女性の日本髪などの髪飾りである筍（こうがい）が頭部の形を似ているので、この名前がついた。環形動物のヒルに比べて筋肉や神経系の発達が劣るため、運動はゆっくりとしており、ゆっくりと這い動くだけである。日本に数種以上が生息しているとされるが、詳細は不明であり、あまり研究の進んでいない分野の生き物かもしれない。ほとんどが海産または淡水産であり、陸上生活のものはこの仲間以外にはほとんどない。このごろ、都会を中心に、外来種であるオオミスジコウガイビルという大型の種が侵入してきているといわれている。